

事業報告

〔自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日〕

I 会社の現況に関する事項

1 事業の経過及びその成果

我が国の経済は、昨年5月の新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言解除後、感染拡大防止策を講じながら、社会経済活動を段階的に引き上げ、持ち直しの動きが期待されていました。しかし、本年1月には2回目の緊急事態宣言が発出され、宣言解除後は、地域的にまん延防止等重点措置を講じながら経済活動を再開しましたが、新型コロナウイルスの変異株による急速な感染拡大により、4月には3回目の緊急事態宣言が発出されるなど新型コロナウイルスの収束は程遠く、景気は依然として極めて厳しい状況にあります。

我が国のライブ・エンターテインメント市場は、コロナ禍の長期化の影響を大きく受け、規模を制限し、感染症予防対策を講じたうえでイベントを開催してきましたが、度重なる緊急事態宣言の発出により公演の中止・延期に追い込まれるなど、先が見えない厳しい状況となっています。

このような状況の中、当ホールは、より安全で安心して快適にご利用いただける施設を目指し政府や自治体のイベント開催基準を順守し、感染対策を講じて事業を実施してきました。

その結果、令和2年度のアリーナの稼働日数は98日(本番日数65日)、稼働率26.8%となり、前事業年度の稼働日数308日(本番日数195日)、稼働率84.2%を大幅に下回りました。事業収入も5億55百万と、前事業年度(19億65百万円)に比し大幅な減収となり、これに広告収入等の関連事業収入

47 百万円（前事業年度 1 億 10 百万円）を加えた総売上高は 6 億 3 百万円と、前事業年度（20 億 75 百万円）に比し 70.9%の減少となり、新型コロナウイルス感染症による大きな打撃を受けました。

一方、売上原価は、新型コロナウイルス感染症によるイベント中止等により、9 億 38 百万円と前事業年度 10 億 51 百万円を下回り、販売費及び一般管理費の 89 百万円と合わせた経費合計は 10 億 28 百万円と、前事業年度（11 億 52 百万円）を 10.8%下回りました。

この結果、当事業年度の営業損失は 4 億 24 百万円となり、法人税等調整額等を差し引いた当期純損失は 2 億 61 百万円となりました。